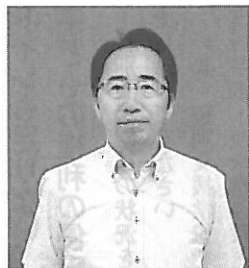


## アラウンド GOGO 55



また1年  
マーチング・オン

前崎勝則

先日57回目の誕生日を迎えました(ちなみに全障研の事務局長の蘭部さんとは生年月日が一緒)。

フェイスブックを通じてたくさんの人から「お誕生日おめでとうございます。あなたにとってステキな1年になりますように」というメッセージをいただきました。

その時、「あなたにとってステキな1年」ってどんな1年なんだろうと思いはじめました。「そんなことを考えずに黙ってメッセージを受けとめなさい」と妻からは言われましたが、思い始めたらいいじいじといつまでも考えてしまうのが、私の常なのです。

どうという1年を過ごしたら

「ステキな1年だった」と思えるんだろうと考えた時に、「趣味の世界を充実させたらいいんじゃないですか?」という別の人の声も聞こえました。

「趣味の充実ねえ?」と考えていると、友人からは「カメラがあるじゃない」「ギターがあるじゃない」「登山

があるじゃない」「料理があるじゃない」と言われて、そう言えばカメラを持って花や古い町を撮りに行ったり、ギターを持って子どもたちの前でオリジナルの歌を弾いたり、膝が悪いので低山にしか登れなくても自然を求めて山に登ったり、新鮮な食材を求めて新作料理に挑戦したりと「器用貧乏」と言われるほど

の多趣味な生活をしていきます。しかし、どれも「これこそ私の趣味!」と誇れるものなどありません。

そして、悩んだ末に出した結論が「人のことばに惑わされない」です。「ステキな1年」なんてそもそも私に似合いません。

私の1年はリパブリック賛歌の「ヒズソウル・イズ・マーチング・オン」かな? 1年通じて、「歩き続け、走り続け、迷い続け、悩み続け、探し続ける」1年なのかもしれない。そして、結局何も見つけられずに、また1年、また1年と「」続けていく1年」が始まるのだと思います。

(山口支部)